

ないようなことはしてないと思いますけれども、一体どういう形にしているかということをおわせて伺っておきたいと思っています。

それから、三番目の福祉行政のところで、全く市長はもう何ていいますか、最初にちゃんと言った趣旨を述べたんですね、社会復帰が大事であって公共施設の配慮が必要であるという総論を述べた後で、限られた範囲だからブロックもエレベーターとかスロープも無理だということ。最初の答弁と後半の具体的なところは、矛盾をしないわけですね。こういうことは必要だけど、つまり必要であると考えているけれども、単に限られた範囲という理由だけです。限られた範囲での工夫とか、あらかたの姿勢としてエレベーターを設置するまうな事については、全く当初から考えてなかったのかどうかということもあわせて伺っておきたいんです。つまり、最初に建前をおっしゃったわけですね、社会復帰が必要だ。だれでもそうだと思うています。しかし、具体的な項に関しては、知らない、やらないんだということであれば困る……。

それで伺っておきますが、「できるだけ配慮」の中身を教えてください、それは。できるだけの配慮をしようとする中身です。それは一体どういうことを考えて

いるのか。福祉の駅舎を変えていくに当たって、障害を持った人たちにとっての、市長のおっしゃるような社会復帰や公共性の配慮ということからいえば、一体どのようなことを考えているのか。僕は具体的な例としてスロープ、エレベーターの例を挙げたわけですが、もしもその、できるだけということでは考えてるとすれば、市長が一体どういうふうに考えてるかということをお伺いしたいと思います。非常に具体的なことが大事だと思います。

それから三番目の、その次の保育園の現状認識の問題は全く同じです。市長はそれでは、認可保育園の充実で逐次整理をしていくんだというのが都の方針で、都の方針でいうのはよくわかってるわけです。市長はこういうふうに現状把握しているかということについて、さっき都の折には二人ついていたというほどですが、市長そのものは、一体その、今の例えば具体的に名前の挙げた牛浜、森田のところでは定員割れを起しているという。しかし現実を調べていけば残った二つの、いわゆる補助を受けてない保育園は、非常に込んでいる状態もあるわけです。それは一体どういうことかということについては、全く把握をしていないのかどうかということがあります。大所高所から物を見て、都の方針がこうであるからと

いうふうには、ほんとにお答えになっても、実態はどのように理解してるのかという質問には全然答えてないんです。建前というかつまりあらかじめある方針というのは、今市長がおっしゃったように、逐次整理のことであるということだとすれば、整理対象になってるんでしょう、恐らくは。

しかし、そこに子供たちを入れないというお母さんたち、お父さんたちがいたり、それからそこが実際にはもう本当に満員状態になってたりなんかするような状態については、やっぱり考えるべきではないかと思えます。そのところをさっきの、実態がわかっているはずだということであれば、市長はどういうふうに把握をされていて、これから先々どういう形で、例えば都がかなりのことを援助するわけですから、都との対応を考えているかということをおわけて伺っておきたいんです。今の答弁ですと、要するに認可も受けてない保育園、補助も受けてない保育園というのはい必要がないんだからもう整理しちゃうぞと。切り捨て御免ですよ、それが基本なのかもしれないけれども。それではやはり納得をしない父母は、たくさんいるんじゃないかと思えます。どういうふうの実態を把握しているのか。実態の把握だけでも大変重要だと思います。そこからどうしようかと考え

るわけですから。

そこで、例えば定員割れを起こしている内容です。確かに定員割れしてるところがあるわけです。五歳とか三歳とかってとこ、定員割れしてるところもある。しかしことしなんかでも、一歳見で非常に厳しかったところもあるわけです。当然ばらつきなんかがあるわけですけども、そういういわゆる認可保育園の現状と無認可保育園の現状、それからそうではない保育所みたいなところの保育園の現状を、どういふふうな現状を理解しているかということも、もう少し伺っておきたいと思えます。先ほどの答弁では非常に、何ていうのか先へ進まないと思えます。以上です。

○議長（森田治男君） 五時二十五分まで休憩いたします。

午後五時 十五分 休憩

午後五時 二十六分 開議

○議長（森田治男君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

○市長（田村匡雄君） 遠藤議員さんの御質問に、自席をお許しいただきます。して御答弁させていただきます。

チームスピリット'86の関係でございまして、日米共同指揮訓練のときに兵隊が来ているという事は知っておたけど、飛行機で来たのかどうかと、飛行機で来るんじゃないかというような御質問でございすけれども、このことについて飛行機が来たのか、あるいはそういったことはよく私も好じ上げないと申し上げたんですけれども、そのとおりでございまして、隊は、事実、兵隊は中で、第五空軍指令部だと思ふんですけれども、その近くで見たことがあるわけでございまして、ヘリコプターで来たか、あるいはマーキュリーで来たかは好じ上げません。いずれにいたしましても訓練ということで、こういったことの訓練ということではなかなか、連絡をしていただきたいというお話はしてあるんでございすけれども、どうしても事後になつたりいろいろしておりまして、私も非常に遺憾に思っているわけでございすけれども、訓練だということでは、やむを得ないというふうに考えてあるわけでございす。

それから、騒音の情報の件でございすけれども、この件につきましてはやはり議会へ御報告をしてあることでございすとして、いつでも本報紙等へは載せられるわけでございすけれども、私もこの件については障害防止の関係で、そのの

データということで収録してあるわけでございまして、ひとつ、議会で報告したことについては、いつでも図書館においてもどこでも、市役所でも御報告はできるといふことになっておりますので、よろしくお願いしたいと思ひます。それから……失礼しました。正月三日の件でございすけれども、私もこの件については非常に残念に思っているわけでございすけれども、いろいろ調べてみますと、米軍ではクリスマスからずつと休みがございまして、二日、お正月の二日か仕事始めだということではございまして、その間いろいろと仕事が残っておたり、また仕事始めだということでは飛行回数かふえるんだということでは、過日も伺ひまして、三日日は私も書類でいろいろと要望してるんだから、そのようにひとつぜひお願いいたしますということでは話かしてあるわけでございす。昨年もそうでございまして、本年もそうだということでは、非常に残念だということは申し上げてあるわけでございす。

それから、福祉行政のうちの福生新駅の障害者対策でございすけれども、この件につきましては、昨年の十月だと思ひましたが、神奈川県茅ヶ崎、それから橋本の駅で、橋上駅の非常に立派なのができてくるというようなことでございまして、職員を派遣をいたしまして、エレベーターとかあるいはエスカレーター等

のことで、一応調査はいたしておるわけですが、非常に立派な駅でございまして、なかなか福生のような駅ではなくて長さも非常に長いというふうなことでございまして、そういったことが取りつけられておるやに聞いております。しかし、御案内のように福生のような財源の非常にない町でございまして、一応現在の駅を私どもが計画したことで精いっぱい努力をしたというふうに、ひとつ御理解をお願いしたいと思うわけでございます。

ほかについては、各担当から答弁をいただきますのでお聞き取りいただきたいと思います。

○助役（古谷徳男君）

自席から外人登録の関係につきまして、他市の状況把握という中で、小金井、立川市の状況はつかんでるのかどうかと、こういうことが市の名前が出ましたのでお答え申し上げますけれども、この件につきましては、二市については担当の方では情報はつかんでおると、こういうふうに報告は受けておりますけれども、いずれにしてもこういう問題については各市とも慎重に対処しているのが現状でございまして、照会の際も、この件は絶対、公開は避けていただきたいたいと、こういうふうな特にことを言われてますので、やはり市間の信頼関係

等もございまして、この場ではそういった内容は差し控えていただきたいたいと、このように思いますのでひとつよろしく願いたいと思います。

○市民部長（古谷正夫君）

外人登録に伴います拒否者の関係でございまして、手帳は交付いたしました。それで事務処理に当たりまして、手帳の交付に当たりましては、通達どおり処理させていただいて交付いたしました。以上でございます。

○福祉部長（生子国利君）

無認可の保育所の関係でございしますが、実態の把握につきましては、どういふふうに把握してるかということですが、これ東京都の方におきましては、児童福祉法の五十八条の二項に基づきまして実態は調べられます。その際、市も同行いたしまして、その事実を調査につきまして、一応内容的に把握はしております。なお定員割れの問題、無認可のうち認可といえますか、協定しております二つの定数割れにつきましては、牛浜保育所につきましては、今定員いっぱい、それから森田母子健康センターにつきましては定員割れになっております。それから公立の、いわゆるその一般の保育所ですか、これにつきましては、やはり定員割れが生じております。それらを考えますと、

先ほど市長が答弁いたしましたとおり、都の方の方針としては公立、あるいは一応無認可でも補助の対象として認められてるところについては、その充実を図るということと前提に都は考えておりますので、市としては実態はつかんでおりますけれど、現状として都の方の意向に沿って現在の保育をしていくというふうに考えております。以上です。

○十二番（遠藤洋一君） 三回目の質問になりますか。

○議長（森田 治男君） 三回目です。

○十三番（遠藤洋一君） 一番目のチームスピリットの中身その他で、要するに自衛隊が来てるかどうかは、とにかく来てるらしいけど何で来てるかわからないという事だと思えますけど、そんなことで困るので、僕がさっき強調しましたのは、要するにさらに飛来のおえる、航空機の飛来のおえるチャンスが増大することに関して言ったわけですから、それはやっぱり困ると思えます。そのところは承知をしているとか、それから飛来は承知をしているなどということではなくて、実際に共同演習なんかがあれば一体どうなるのかと、飛来がおえるのかということぐらいは——さっき頭上演習ばかりそんな飛行機は使わないのではないかという推

測を市長は行ったわけですから、推測は若干間違ってたわけですね、要するに。であればきちんとした情報把握と、市民生活にどういう影響を及ぼすかということとを、やはりきちんととらえていただきたいと思えますし、同時に、それひとつ飛来がますけれどもさっきの飛行機の離着のことから言いますと、つまり正月三日については文書を出したけど、しかし二日から御用始めだなんてこと何でこじわかったんですか。ちやうと……市民に対して申しわけないと思えます、そういうのは。だって幻想を与えたわけでしょう、つまり三日間、お正月三日は、せめて飛ばないでくれということをお願いしたんだということであれば、やっぱり市民の皆さんは、市長さん何かやってくれたかと思うわけです。去年初めて、つまりデータとしてはっきりしたわけですが、二日の日にたくさん飛んだというのは。だからデータの公開というのはものすごく大事なことになるわけです。だって人々は、つまり何となく一月二日はうるさいと思ったけど、何の根拠もないわけですから、気分だけなんですから、わかるのは。こう言うデータエックしてるわけじゃないんでね。そうなければますます一番目の問題、二番目の問題、非常に密接ですけれども、きちんとしたつまり情報把握をしたり、生活に影響のあるようなことに関してはきちんとしたやはり公開の態勢をとるべき、

だと思ひますけれども、そこはもう一度伺いたいと思ひます。

それでチームスピリットと共同演習に関する事についてはもう結構です。つまり、何の手も打っていないわけで、打てないわけですからそれは結構ですけれども、せめてその騒音のデータに関しては、議会の報告文まではよいという事になりそうです。それは、例えばそういうことはしたくもする気もないけれども、三百六十五日全日聞いたらどうなっちゃいますか。それはつまり市長さんの論理から言えば可能なのです。それがつまり図書館なりに行くという事になるわけでしょう。それでこのようなことが、やはり実際に、例えば減れば、飛行総数が減っていけば、やっぱりより静かに、例えばなってくわけです。僕は全体の傾向から言つとやっぱり減少ぎみだと思ふんです。それでは。それから、夜もむちゃくちゃなエンジンテストなんか、僕はだんだん減ってきてると思ふんです。それはやっぱり市民の意向だったり市当局の意向が、やっぱり伝わったところがあると思ふんです。もっともアジア全体が割に今平和ですから、そういうところがあると思ひますけれども。そういう目安になるべき事に関しては、常にやっぱり開いていくというような姿勢が必要だろうって、うふうにどうしても思ふんですけれども、そこをもう一遍聞

きたいんですけれども、その防止のデータとして収録してるんだと。だから市民一人一人に答えるような事はできないんだという事であれば、そういう答えが返ってくる可能性も十分にあるわけですけれども、それはそれでそういうものかとも思ふしかないんですけれども、今のつまり具体的な例から言いますと、つまり何にも知らなかったわけです。早い話がクリスマス休みから二日が仕事始めであつたなんて事は、市長さんですら知らなかった。知らないにもかかわらず要望書を出して受けとめられてたわけです。市長さんすごく困った立場になつたわけですよ、今や。そういうことかと言つても、ちゃんとデータはやっぱり公開するような事を考えるべきだと思ひますけれども、そこはもう一遍、残念なだけではなくて、きちんとしたコミュニケーションが基地とできるのかどうかということも含めて、どういう努力をしていただけるかということをやはり伺っておかないと、とてもじゃないけど、僕も独自の議会報告をつくってますけれども、その中で、二日から仕事始めだと知らなくて今まで要望書を出していたなんて事は、ちょっと耻ずかしいんです。やっぱり騒音、せめてどちらにしましてもまたここの年末に、そういうことをお願いすると思ひますけれども、せめて正月三日だけでも静かな……って言うことはできないのかどうか

ということもお願ひしていくと思いますけれども、差し当たって市長さんが言った騒音のデータの公開も含めて、どう考えているかということ三番目の質問にしたいと思います。

それから外国人登録の問題で、前回もそういう確認をするのは大変いやだったんですけれども、例えば通達どおりっていうふうには部長がおっしゃって、通達どおりということは、つまり指紋欄に不押捺というふうには判こを押しましたというふうなことで、それから登録済証にも不押捺ですということを押したというわけですね。それは二十六市中、そんなにたくさんの方々がやっていると、そういうことを、ちよっと、実際にはお耳にもう入っていて、そのことをさっき助役が言ったようになるべく公開は避けてほしいというふうに言っているから公開は避けたんでしようけれども、現実には公開されていることなわけです。それぞれの市でやっている行政ですから、その市民は知ってるわけです。それで市役所同志が知ってたリ口に出して言わないでくわって言うだけのレベルであって、三多摩の中で指紋のことをやってる人たちのグループは、みんな一覽表の中にあつて、小金井はどうか対応をしたか、立川市はどうか対応をしたか、あるいは立川市で、指紋押捺拒否という

ふうに書いて提出した本人に渡した登録済証を、あわてて引っ込めたとか、そういうことはだれでも知ってるんです。隠してることもなんでもないはずですね、小金井でもそうだけども。そういう、つまり事務当局の混乱というのは、大変にあるんです。

そういうことが、実際には、しかし市民として存在をする在日外国人の人たちに不利になったり、当面の不利益を与えないというような考慮がされてるわけですねけれども、しかし我が市においては、全くその考慮がないんです。僕の調査でも東京二十六市中、最も対応の悪い自治体の一つです。そういう意味では、非常に法務省の通達どおりという、さっきおっしゃったけれども、そこからやっぱり一歩も出ない形なんです。

それでさっき答弁漏れがあつたんで、市長にもう一回伺いますけれども、通達どおりに行くというこの中身は一体どういうことですか。つまり市長としては市民の一人を罪人としてつくるということに、つもりなのか、それともさういうつもりではないということなのか。僕はなと思いますけれども。そこが答弁漏れだったので、もう一度外国人登録、機関連任事務のことはありますけれども、現実に自治

体がためされてることになってしまったわけです。去年五月四日に通達が来たときに何となく何か月かすれば、通達についてはもう少しうまくいくんじやないかというふう
に思つて、東京都も思つた節があるけれども現実には全くそれがないままに過
ごしてきたわけです。現実に通達は生きていて通達どおりなんて言つてゐる、恐
らく自治体というのは非常に数が少なくなつてゐるんですね、東京都では。その中
でこれを守つてゐる感じがありますけれども、市長はこれから先、てんまつとしては
どういふふうなことを考えているかということ、はつきり伺つておきたいと思ひます。
つまり通達どおりやるとするならば、結果はどういうことになるかということも含
めて聞きたいと思ひます。

それから三番目の、そこはもう一遍市長に伺いたいんです。三番目の福祉
の問題で、エレベーターのことです。いろいろ見てきたけれど……何か結局セツきはね、
セツきはこうでしたよ。限られた範囲だから無理なんだって言ったけれど、今度は
財源的には無理だつていふふうにちよいと変わつてきたんですが、本当のそこはど
ですか。つまり、最初からつまりエレベーターなど考へてなかつたんだというこ
とでも別に……考へ方ですから、市長の。それはそれでもいいわけです。それで

最初はつまりちよつと狭かつたんだと。次はお金がないんだというのでは、やっぱり期
待する市民は納得しないと思ひます。基本的な構想として駅をどうしても
改築しなければいけない、しかも市のお金を使わなければいけないという状態に
なつてきたわけですね、僕らもその話聞いてたけれども。そういうふうな、市としては
全然そういうことを考へてこなかつたのかつていうことでもあると思ひます。セツきも
言ひましたけれども、できるだけ配意というのは、例えば点字ブロックであつたり、
つえであつたりすると思ひますけれども、それはやっぱり当然のことであるわけです、
そういうことについては。市としては、当初、つまりその駅の問題について考へるときに、
その辺のことをじゃあどういふふうな思つてたのかということをやつたり伺つておかない
と、市長の二つの、矛盾はしないけれども違ふ返答に対して返事にならないう
いふふうな思ひます。そこを伺つておきたいと思ひます。

それから、保育園の現状の問題ですけれども、確かに部長のおっしゃつた
ような事実というのは存在をしますし、それから実際には実態を把握してゐる
形になると思ひます。僕はその上で、例えば現実にそれらの保育園を必要
とするようなお母さんやお父さんや子供たちがいるとすれば、ぜひそれは都という

んな形で交渉を、やはり持つていただきたいと思ひますし、そのことで何うかの努力をすれば、無認可保育園という形で進んでいくとすれば、父母負担がちやうと違ひ過ぎるんです。実際に無認可認可に行っているお父さんお母さんの負担と、今実際に残った二園の問題を言いましたけれども、二園に通っている子供たちの負担とは、全然やっぱり違ひうわけです。同時にやっぱり今名前のお拳がってなかった二つの園はとも努力をしていると思ひますし、子供たちのおやつの問題とか給食の問題なんか、随分努力をしていると思ひうんです。そのことでそこにはやっぱり預けたらいいというお母さんやお父さんがふえてきたのが現実だと思ひうんです。

そういうことであれば、実際には今、片一方はもうほとんどいっぱいだし、ということでもありますので、ぜひ実態を調べた、把握した上で、都との交渉その他での——都がうんと言へば市の方も大丈夫だと思ひますけれども、それはぜひお願いしたいと。三は質問ではなくて要望だけにしておきたいと思ひますけれども、前の三つについては答弁漏れのないように、これが最後のものですから答弁をお願いしたいと思ひうんです。

○市長（田村匡雄君）

自席からお許しをいただきまして答弁させていただきます。

情報の件でございますけれども、何回も申し上げるようでございますけれども、現在のところは議会で、一応御質問に対してお答えしたということとは、発表はできませんけれども、それ以外のことでございますと、申し上げるように、これ行政的にいろいろと利用したいというふうなことでございますので、情報紙で発表は差し控えさせていただきたいと思ひうわけでございます。

それから三が日の飛行の件でございますけれども、これは私自身としても本当に非常に残念だということでございます。今後この件につきましては強く要請をしていきたいと思ひうに考えておるわけでございます。先ほども申し上げたんですがございますけれども、クリスマスから暮れにかけては兵隊が休みということになりまして、正月に仕事始めというふうなことで、やはり輸送部隊でございますので、やはり物資のいろいろと輸送等で飛行回数かふえるのではないかと今うに考えておるわけでございます。

それから、指紋押捺の件でございますけれども、この件については、私とも

市長会を通じまして、国へ働きかけをしておりまして、非常に法改正等を強く要請はしておるわけでございますけれども、それが早い機会に改正になるのかというふうに思っておったわけでございまして、なかなかそれが、法改正が今のところはっきりしないというようなことで、非常に残念に思っております。現在このようにそういったことで非常に苦慮するということでございまして、ひとつ御理解をお願いしたいと思っております。

それから駅の関係でございまして、少し違ふんではないかというところでございまして、この件は、面積的にもそれから非常にまた資金面でもいろいろ制約がございまして、そういった関係でございまして、非常に残念でございますけれども、先ほど申し上げたとおりに、エレベーターとかそういったことでなく、ほかの面で障害者に対する対策をしていきたいということでございますので、御理解をいたしたいと思います。

○議長（森田治男君）

十三番 遠藤洋一君。四回目ですから。

○十三番（遠藤洋一君）

最後ですから要望にしておきますよう。

一番目の基地のことですけれども、そういうデータに対する考え方があると

する……僕は、何に、だれにどう遠慮をしてそういうことがいやなのか、全然わかりません。本当に、もう一回言いますけれども、じゃあ全くそういうふうにするのは嫌みみたいで嫌だけど、僕が例えば次の議会から三月一日、二日、三日、四日、五日、六日……二十八日まで一日ずつ教えてくださいなって言われたらどうしますか、一体。そんなことじゃないと思うんです。すごく簡単なことだと思ふし、つまりもう一つは大事なことだと思うけど、税金を使ってやっていることですから、納税者たちがやっぱり要求したことに對して答えるようなことがない……。何の秘密でもないことだと思ふんです。事実なんだし、しかも機械がピコンピコンやってるわけですから。そういうことを流るのは非常によくはないと思ふす。感想だからこんなことを言ってもしょうがないですけども。要望から言え、十分に覚悟をしてくださって、ぜひ市民にそういった情報を公開してください。十分に要望しますし、そのことはやはり動きになると思ふす。つまり今は議会が僕がしゃべってるだけだけど、市民的な動きになっていくと思ふす。そういうふうになるから余計、そうなんだよ、流れば何かおかしいんじゃないかと思ふわけで、何か隠してるんじゃないかと思ふわけで、いいですよ、たとえば別に聞き